

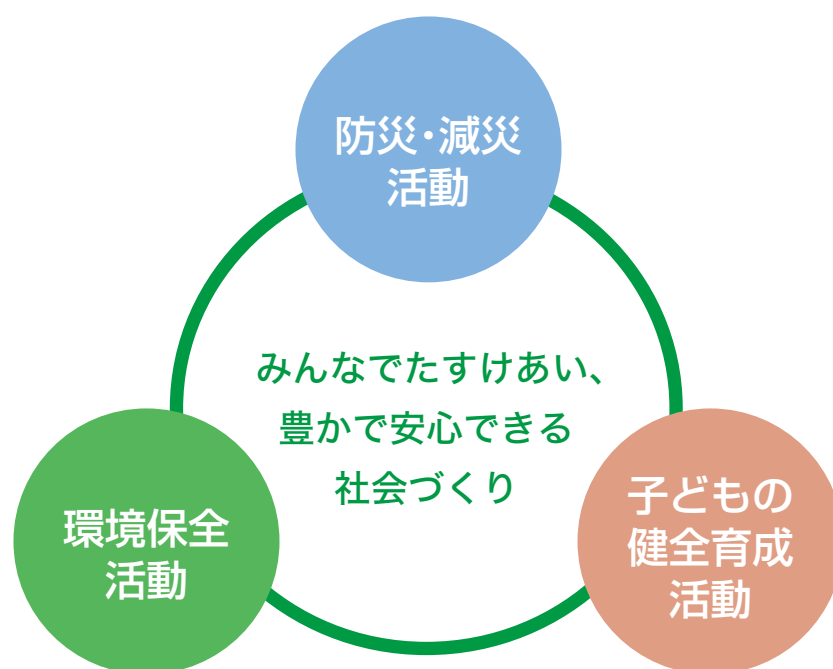
2016 年 社会貢献活動レポート



全労済の社会貢献活動

全労済の理念は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」です。

私たちは、この理念に描く社会の実現のため、「防災・減災活動」「環境保全活動」「子どもの健全育成活動」の3つの重点分野を中心に、社会貢献活動に取り組んでいます。



保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

ささえあい、たすけあい。そして、ともに歩む。

—「平成28年熊本地震」により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます—

日頃は、全労済の運動と事業の発展に向けてご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

また、私たち全労済の取り組む社会貢献活動に対してもご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

さて、この度の「平成28年熊本地震」により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

「東日本大震災」から5年が過ぎた本年4月、熊本地方を中心に襲った強い地震は、前代未聞の前震と本震を連鎖させ、その後も相次ぐ余震を繰り返し、甚大な被害をもたらしました。

私たち全労済においては、一日も早い共済金等のお支払いをすべく組織を挙げた取り組みをはじめ、熊本県への義援金の寄贈、全労済グループで働く役職員等による募金活動や全労済の共済ショップ窓口における募金活動などを通じて、たすけあいの輪を積極的に拡大してまいりました。

「東日本大震災」と同様に「平成28年熊本地震」もまた、復旧・復興に要する歳月は短いものではないと推定されます。私たち全労済は、これからも被災者の方々に寄り添う活動を推進し、一日も早い被災者の方々の生活再建と被災地の復旧・復興に向けて社会的使命を果たす所存です。

一方、私たち全労済では、社会貢献活動の重点分野の一つとして「防災・減災活動」を位置づけています。具体的には、地域に根ざした市民団体などを支援する「全労済地域貢献助成事業」の対象として、2016年から新たに「防災・減災活動」を加え、該当する市民団体等への助成を行っています。また、小さな子どもたちにも「防災・減災活動」の大切さを感じていただくために、そのツールとして「じしんがきたらぼうさいえほんくぼうさい」(冊子)を作成し、子育てイベントや「全労済のよみきかせ会」に参加された方々に配布しています。

自然災害の多発する昨今、引き続き「防災・減災活動」の意義を訴えてまいります。

なお、来年、私たち全労済は創立60周年を迎えます。

60周年を迎えて新たに生まれ変わる全労済をめざす中期経営政策「Zetwork-60」において掲げた、「人と人」「人と社会」「人と自然」の結びつきを深め、全労済の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を実践することにより、全労済としての社会貢献活動を力強く推進してまいります。

これからも、引き続きのご支援・ご協力をお願いします。

2016年7月

全労済
代表理事

理事長

中世古 廣司





東日本大震災の被災地を支援する取り組み

きずな公演



Syan(シャン)



ミュージックボックス

全労済では被災地の子どもたちとそのご家族などのために、東京都（2013年3月）、福島県（2014年4月）、岩手県（2015年2月）にてミュージカル仕立ての公演や楽団による演奏会、影絵公演などの「きずな公演」を開催してきました。2016年は1月16日に宮城県仙台市のザ・モール仙台長町にて開催し、公演の第1部は「バルーンパフォーマーSyan(シャン)」による魔法のような夢の世界が広がるバルーンパフォーマンス。第2部は「ミュージックボックス」による愉快的演奏会を行いました。約430名の親子連れが来場され、会場はたくさんの笑顔であふれました。

東日本大震災復興支援チャリティー 緑の募金

きずなコンサート2016



Green Wind Ensembleふくしま



ベルボトムズ

本年度5回目となる全労済が協賛する「きずなコンサート2016」が、2016年3月13日に全労済ホール／スペース・ゼロにおいて開催され、375名の方々が来場されました。開演前に特別企画の「地震から身を守るための映像上映および実技訓練」を日本赤十字社の協力のもと実施し、第1部は「Green Wind Ensembleふくしま（福島県立相馬高等学校、福島県立相馬東高等学校吹奏楽部有志）」による演奏。第2部は「ベルボトムズ（庄野真代、叶高（サーカス）、坂本洋）」のコンサートと出演者全員と来場者による合唱。フィナーレの曲は「花は咲く」でした。このコンサートで集まった募金は主催した「公益社団法人 国土緑化推進機構」を通じて被災地の緑化や防災林等の整備に充てられます。

子どもたちへ絵本を贈る活動

2015年12月に全労済グループ役職員の各家庭で眠っている絵本を集めて、被災地の子どもたちへ贈る活動を実施しました。全国から集まった絵本は2,636冊。絵本は黄色のえほんバスに載せて、被災地の子どもたちへ届けられました。この活動はNPO法人 地球の楽好（がっこう）と公益社団法人 日本フィランソロピーの協力のもと実施しました。



絵本を届けるえほんバス



子どもたちの森づくり支援活動



全労済は、環境保全活動において「公益社団法人 国土緑化推進機構」とパートナーシップを組んでおり、2013年12月からは同機構が実施する「震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業」を通して、当該地域で緑化活動を行う児童の組織、「緑の少年団」をサポートしています。東日本大震災の被災地では、特に沿岸部の海岸林が津波により壊滅的な被害を受けるなど、震災を機に緑が減少しました。全労済では、被災地の緑を回復し、子どもたちの緑を大切にする「こころ」を育てる目的で、これまでに岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の子供16校に植樹のための木々や、活動用のユニホームを寄贈するなどの取り組みを行っています。2015年度は4校にて実施しました。

2015年
12月7日

福島県いわき市立
藤原小学校

モミジ
ハナミズキ



2016年
3月4日

茨城県石岡市立
吉生小学校

ヤブツバキ
シャガ



2016年
5月27日

宮城県気仙沼市立
津谷小学校

ハナミズキ



2016年
5月30日

千葉県市原市立
京葉小学校

ツツジ



よみきかせ会

東日本大震災の被災地や避難者の子どもたちの心のケアと健全育成を目的に2012年11月より岩手県、宮城県、福島県や東京都にて「全労済のよみきかせ会」をスタートさせ、その後、大阪府、兵庫県、愛知県などでも実施しました。現在までに172カ所の保育園、幼稚園などで延べ17,160人の子どもたちが参加しました。また、小さな子どもたちの防災意識を高めるために「じしんがきたらぼうさいえほん ぼうさい」を作成し、よみきかせ会や子育て、防災・減災イベントなどで配布をしています。



愛知県

愛知県内での「よみきかせ会」では職員が大きなタペストリーの横で子どもたちに絵本を読みました。



東京都

東京都内では「防災絵本よみきかせ会」として大きな絵本の「じしんがきたらぼうさいえほん ぼうさい」を読み、参加した子どもたちにミニサイズの絵本をプレゼントしました。



「じしんがきたらぼうさいえほん ぼうさい」は「しよくじゅうにじしんがきたら？」などクイズ形式で楽しく防災を学べる絵本です。



[illegible]

ネパール地震被害に対する義援金募金の取り組み

2015年4月25日に発生したネパール地震に対し、全労済グループで働く役職員等による募金活動を実施しました。全国より集められた募金に労働組合からの拠出金を合わせた総額約393万円は日本赤十字社を通じて、現地での救護・復興活動に役立てられています。

日本赤十字社「献血活動」

各事業所にて役職員が自発的にボランティアに参加できる取り組みとして、「団体献血活動」の実施や「献血推進月間」を設定し、役職員へ献血の呼びかけをしています。全労済本部会館では2016年3月2日に「団体献血活動」を実施し、102名が献血をしました。



環境保全活動

工口住宅専用 全労済の住まい共済

全労済では、2008年1月の「社会貢献付エコ住宅専用火災共済」の取り扱い開始以降、環境活動団体へ寄付を実施しています。昨年に引き続き「公益社団法人 国土緑化推進機構」と「公益財団法人 日本環境協会」、新たに「公益財団法人 日本自然保護協会」の3団体へ総額1,500万円の贈呈を行いました。

※2015年2月より「社会貢献付エコ住宅専用火災共済」は「エコ住宅専用 全労済の住まいる共済」に変わりました。

● ● ● ● ● ● ● 社会福祉団体への寄付 ● ● ● ● ● ● ●

全労済では、1981年より障がい者を対象とした支援活動、高齢者を対象とした支援活動、災害対策を対象とした支援活動を行っている社会福祉法人などの団体へ、継続して支援を行っています。2015年度も外部有識者等による審査委員会にて以下の16団体を選定し助成金を交付しました。

No.	団体名	事業名
1	日本社会事業大学	新たな時代における社会福祉経営～福祉人材の育成と管理～(日本社会事業大学創立70周年記念事業として)
2	公益社団法人 虹の会	老人福祉施設入所者等レクリエーション活動支援事業
3	一般社団法人 日本介護支援専門員協会	高齢者の自立支援を促進する支援活動－複雑な介護保険制度を理解し、自助、互助を活用した生活ができるように－
4	一般社団法人 シルバーサービス振興会	高い専門性を持った介護人材の確保とキャリアアップの仕組み構築のための啓発パンフレットの作成・配布事業
5	一般財団法人 長寿社会開発センター	高齢者の地域づくりのための「居場所」の意義とネットワーク化を考えるための調査研究
6	公益財団法人 日本チャリティー協会	パラアート (障害者アート)国際交流活動事業
7	公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会	障害者の社会参加支援のための人材育成事業
8	社会福祉法人 日本盲人職能開発センター	ロービジョンの就労の現状と展望を考える全国セミナーの開催事業
9	社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター	障害者権利条約批准後の視覚障害者の就労実態調査
10	社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会	視覚障害者のための社会福祉に関する情報提供支援事業
11	NPO法人 日本セルフセンター	トータルフードマネジメント導入支援事業
12	NPO法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会	合理的配慮に関する情報提供施設が果たすべき役割に関する調査・研究・啓発事業
13	公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本	知的障害者スポーツ体験会と交流会の開催
14	社会福祉法人 浴風会	認知症の人の行方不明を防ぐ方策の普及推進事業
15	NPO法人 日本せきずい基金	シンポジウム「次世代の脊髄損傷療法」開催事業
16	一般社団法人 福祉創造助成事業団	社会福祉事業における外国人介護人材の受け入れに係る調査研究事業

全労済地域貢献助成事業

全労済では、社会貢献活動の一環として、1992年より環境問題などに取り組む団体を対象に助成事業を継続して行っています。2016年は「人と人とがささえあい、安心して暮らせる未来へ」をテーマに「自然災害に備えいのちを守る活動」、「環境を守る活動」および「子どもの健やかな育ちを支える活動」にかかわる全国のNPO法人や市民活動団体等に総額約2,000万円を助成しました。

《2016年助成団体》

No	都道府県	団体名	No	都道府県	団体名
1	北海道	あさひかわサケの会	38	愛知県	日進防災推進連絡会
2	北海道	ママズケア それいゆ	39	愛知県	名古屋みどり災害ボランティアネットワーク
3	北海道	丸瀬布昆虫同好会	40	愛知県	NPO法人 高齢者住まいる研究会
4	青森県	NPO法人 子育て応援隊 ココネットあおもり	41	岐阜県	土田水辺の会
5	青森県	子育て支援サークルpapahug	42	三重県	環境学習サークルみえ
6	岩手県	岩手山麓自然学校	43	滋賀県	おにぐるみの学校
7	宮城県	カワラバン	44	滋賀県	親支援グループはやま
8	秋田県	おおだてde子育て	45	滋賀県	NPO法人 CASN
9	山形県	山形県防災士会(日本防災士会山形県支部)	46	奈良県	NPO法人 環境市民ネットワーク天理
10	山形県	遊び工房プロジェクト (Play Laboratory Project:略称P・L・P)	47	奈良県	国立大学法人奈良教育大学ボランティアサポートオフィス 学生スタッフ
11	福島県	NPO法人 竹林再生プロジェクト	48	奈良県	とつぶろ。
12	茨城県	逆川こどもエコクラブ	49	京都府	NPO法人 セントラルライフ京都
13	栃木県	NPO法人 磯川にやすらぎの郷をつくる会	50	京都府	「ふくしま・こどもキャンプ 丹後の海」
14	栃木県	Motto	51	京都府	NPO法人 HAHATO.CO
15	埼玉県	笹目川の環境を守る会	52	京都府	安朱学区社会福祉協議会
16	埼玉県	ねんりんワークス	53	大阪府	モモの木
17	埼玉県	さいたま冒険遊び場・たねの会	54	大阪府	生野地区運営委員会
18	埼玉県	青少年多文化学びサポート(ESMY)	55	和歌山県	須佐しいやま倶楽部
19	埼玉県	ECOライフファクトリーさくら	56	兵庫県	姫路ジャコウアゲハ倶楽部
20	千葉県	五育総合研究所	57	兵庫県	ひょうごまちの助産師の会
21	千葉県	東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト	58	兵庫県	NPO法人 あんずぼこ
22	東京都	一般社団法人 八王子協同エネルギー	59	島根県	オヤジーンズ～自由な心を忘れない大人に～
23	東京都	NPO法人 NGOフク21ふらっとホーム	60	鳥取県	倉吉まちづくりネットテラハウス
24	東京都	NPO法人 福島こども保養プロジェクト・練馬	61	岡山県	真庭自然を観察する会
25	東京都	トロールの森実行委員会	62	岡山県	NPO法人 フードバンク岡山
26	東京都	野の暮らし	63	広島県	もぎもぎ☆ふぁーむ
27	東京都	「非行」と向き合う親たちの会(通称:あめあがりの会)	64	山口県	NPO法人 山口女性サポートネットワーク
28	東京都	にほんごの会くれよん	65	香川県	NPO法人 面会交流支援センター香川
29	神奈川県	神奈川地域貢献支援協議会	66	福岡県	おやのかいMIRAI
30	新潟県	フォルトネット(未来を担う子ども達へのつながり)	67	佐賀県	佐賀地区BBS会
31	静岡県	しろやま読み聞かせクラブ	68	長崎県	トムテのおもちゃ箱
32	静岡県	みらいネット浜松	69	熊本県	球磨湿地研究会
33	富山県	高岡外国人の子どものことばと学力を考える会 (通称:アレッセ高岡)	70	大分県	大分人権教育ワークショップ研究会
34	福井県	ふくいの森の子自然学校	71	宮崎県	NPO法人 子どもの森
35	愛知県	NPO法人 東山動物園くらぶ	72	鹿児島県	NPO法人 Rinかごしま
36	愛知県	中村区竹の子ボランティアサークル	73	沖縄県	NPO法人 宮古島の環境ネットワーク
37	愛知県	リトルハウス			

●●●● 子どもの健全育成活動と防災・減災活動 ●●●●

「子どもの健全育成活動」として、昨年に続きU-12サッカーリーグの応援や子育てイベントへの出展をしました。また、「防災・減災活動」として、2015年度は全国56カ所で「ぼうさいカフェ」や「防災・減災イベント」を実施しました。
※「ぼうさいカフェ」とは、内閣府が防災知識モデル普及事業として、社会全体の防災力向上や防災意識を高めるために推進している取り組みです。

こくみん共済U-12サッカーリーグ



公益財団法人 日本サッカー協会（JFA）の「Players First！（関わる大人が力を合わせて子どもたちに理想の環境を！）」の考えに賛同し、JFAが主催する「こくみん共済U-12サッカーリーグ」に2013年から特別協賛しています。



子育て、防災・減災イベントへの出展と実施

子育て応援団 すこやかあきた2015

2015年7月25日～26日に秋田県立武道館にて開催された「子育て応援団 すこやかあきた2015」にて「全労済プレゼンツよみきかせ会」を実施しました。



子育て応援団 すこやか2015（宮城）

2015年10月17日～18日にセキスイハイムスーパーアリーナ（利府町グランティ21）にて開催された「子育て応援団 すこやか2015」にて「ぼうさいクイズ」を出展し、2,479名が参加しました。



子育て応援団 すこやかふくい 2015

2015年11月28日～29日に福井県産業会館にて開催された「子育て応援団 すこやかふくい 2015」に「ぼうさいクイズ」を出展し、2,313名が参加しました。



ママの文化祭（愛知）

2016年1月22日に春日井市総合体育館にて開催された「ママの文化祭」にて防災グッズや非常食等を展示しました。当日は春日井市公認安全安心キャラクターのはるかぜちゃんと全労済のピットくんも登場し、子どもたちに大人気でした。



備え～るフェア2016 （東京）

2016年3月5日～6日に東京ソラマチにて「備え～るフェア2016」を全労済東京都本部が開催し、約2,000名の方々が来場しました。当日は「防災クイズ」や「防災絵本よみきかせ会」、「サバイバルカードの作成」など、たくさんのイベントを実施しました。



子育て応援団 すこやか2016（広島）

2016年5月21日～22日に広島グリーンアリーナにて開催された「子育て応援団 すこやか2016」に「全労済プレゼンツ絵本のよみきかせ」と「ぼうさいクイズ」を出展しました。よみきかせには394名、ぼうさいクイズには3,014名が参加しました。



全国の事業所での活動



全国の事業所で展開された 2015 年度の主な社会貢献活動をご紹介します。

●宮城県本部

- ・「第21回わいわい祭」にて「ぼうさいクイズ」実施



●福島県本部

- ・「第9回全労済還暦軟式野球大会」開催

●栃木県本部

- ・特別養護老人ホーム「元気の里」介護ボランティア

●埼玉県本部

- ・「全労済カップ争奪第41回埼玉県スポーツ少年団小学生軟式野球交流大会」への特別協賛

●東京都本部

- ・東京災害ボランティアネットワーク主催「2016KOBE MEMORIAL 1.17灯りのつどい」へのボランティア運営参加
- ・「ジュニアスポーツドリームチャレンジ (JSDC)2016」への特別協賛



●山梨県本部

- ・参加料がYMCAの障がい児支援活動に充てられる「第18回山梨チャリティーラン2015」への参加

●静岡県本部

- ・「フードバンクふじのくに」への食料の寄贈

●新潟県総合生協

- ・被災三県の子どもたちに届ける「古絵本収集」の取り組み

●中日本事業本部

- ・ペットボトル等、飲物容器の分別回収と完全リサイクル、およびキャップ収集によるワクチン寄贈への協力

●愛知県本部

- ・東日本大震災復興チャリティーイベントによる募金活動

●三重県本部

- ・三重県の環境保全活動「企業の森」に参画し、2008年に実施した植栽の補殖および保全契約の継続

●滋賀県本部

- ・琵琶湖をはじめとする湖国の自然環境を保全し、美しく住みよい郷土をつくる活動(琵琶湖クリーンキャンペーン)への協賛

●京都府本部

- ・「私の好きな木-樹木と文化 IN KYOTO 2015-」への後援

●大阪府本部

- ・「第31回 全労済子ども絵画コンクール」開催
- ・「全労済子ども写生大会」開催



●兵庫県本部

- ・児童虐待防止の推進(オレンジリボン運動)への協賛

●島根県本部・鳥取県本部

- ・「みんなの防災フェスティバル 鳥取県西部地震を風化させないために」開催



●高知県本部

- ・「親子で行く夏の防災学習in兵庫」実施

●岡山県本部

- ・SON(スペシャルオリンピックス 日本)・岡山 地区大会へのボランティアスタッフ参加

●福岡県本部

- ・「暮らしと遊びの夏休み」研修旅行 宮城県の子どもたちを福津市へ招き 地元の子どもたちとの交流をはじめとした各イベント開催

●沖縄県本部

- ・「第27回ぎのわん車いすマラソン大会」への特別協賛

●本部

- ・「東日本大震災復興支援マルシェ」開催
- ・「海の森秋の植樹まつり」にて植樹ボランティアに参加



- ・「外貨コイン仕分けプログラム」ボランティア実施
- ・「TABLE FOR TWO」プログラムへの参加



全労済公式キャラクター「ビットくんファミリー」

【お問い合わせ先】

全労済 総務部 社会貢献推進課

〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10

TEL: 03-3299-0161(代) FAX: 03-5351-7772

ホームページ: <http://www.zenrosai.coop>

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

2016年7月発行